

相模湾 太刀魚

相模湾平塚港出船 相模湾平塚沖のタチウオ 深場の群れ濃く絶好調!

撮影●本誌編集部



取り込みはリーダーをつかんで船内に抜き上げる

テンビン、テンヤ、ジギングの3種類の釣りで楽しめる相模湾のタチウオに注目

エサはサバの切り身が支給される



船宿仕掛けはハリス6号2メートル、タチウオバリ2/0号、オモリ60号



テンヤは60号(50号テンヤに10号のオモリを足してもOK)、エサは持参となる



●テンヤで釣り上げた当日最大134センチ



●船長が反応が濃く出ている範囲をアナウンスしてくれるので指示ダナをていねいに探る



●テンヤとテンビンの2タックル持参し、両方の釣りを試しながら釣るのもあり



●テンビン仕掛けて12センチを頭に57本を釣り上げ竿頭に



●テンヤで122センチを頭に43本



●アベレージは指幅3〜4本級



●ジギングの最大は121センチ



●テンヤは大型のヒット率が高い



●レンタルタックルでタチウオ釣りにチャレンジした2人もバリバリ釣れて笑顔が弾けた



●ジギングの重さは150グラム以上で潮が速いときは200グラムも使う



●ジギングのトップは49本



▲ルアー釣りはミヨシの突き出しで楽しめる

▼ジギングはフォールと巻き上げの両方でよく釣れた



相模湾のタチウオ釣りが盛り上がっている。取材した相模湾平塚港の庄治郎丸では深場のタチウオを狙って出船。釣り場は港から航程5分ほどの相模川河口前で、水深100〜140メートル前後を探っている。タチウオの群れは朝のうち水深100メートル付近にいて日が高くなると徐々に沈んでいく。釣れるタチウオは指幅3〜4本級を主体に5〜6本級の大型も交じる。
同船ではテンビン仕掛けのエサ釣りやテンヤタチウオ、ジギングなど自由に楽しむことができる。取材日のトップはテンビンで57本、ジギングで49本、最大はテンヤで134センチと数、型ともに文句なしの釣れっぷりだった。タチウオの群れは濃く反応もバッチリなのでまだまだ楽しめそうだ。
(詳細は50ページ参照)



▲釣り場は平塚沖の水深100〜140メートル前後、タナは底付近から宙まで幅広い

●相模湾平塚港・庄治郎丸
大堀 耕史船長